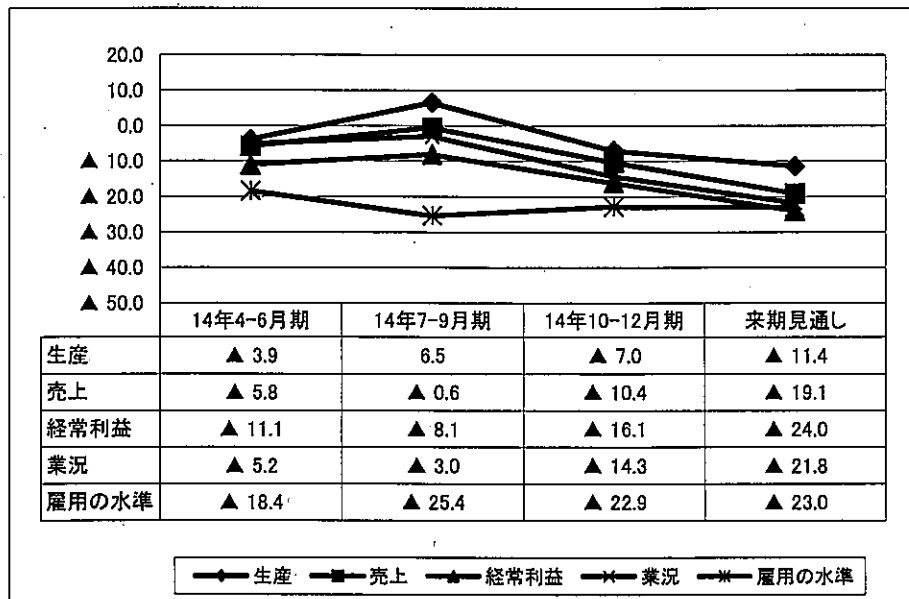


県内の経済雇用情勢について

企業景況(DI)の推移



■企業調査(H26.10-12月期)の結果

【目的】 県内景況を把握するため四半期ごとに企業サイドの景況感を調査

【調査期間】 平成26年11月～12月

【調査客体・手法】 県内事業所への郵送アンケート、訪問によるヒアリング
(回答事業所数:761事業所)

【結果概要】

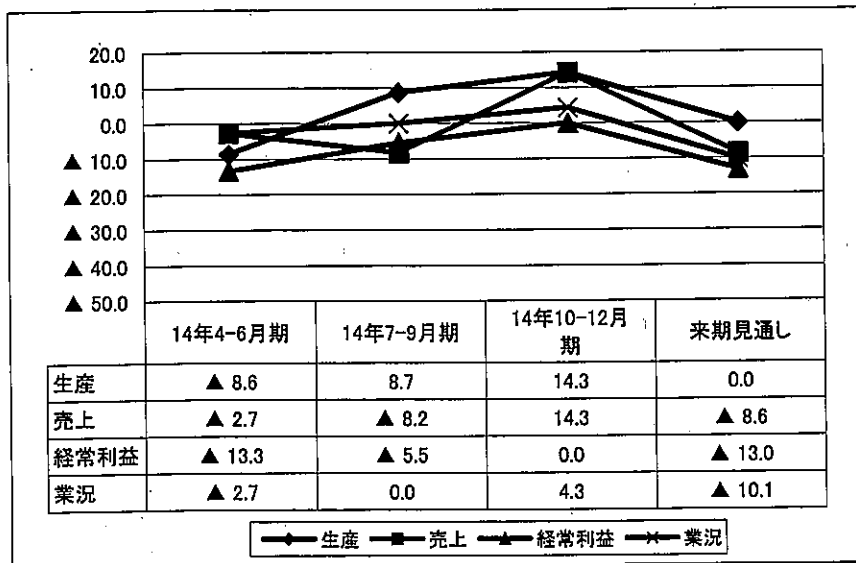
<今期>生産DIはプラスからマイナスに転じ、売上、経常利益、業況の各DIはマイナス幅が拡大し、景況感が悪化した。

<来期>生産、売上、経常利益、業況の各DIはマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

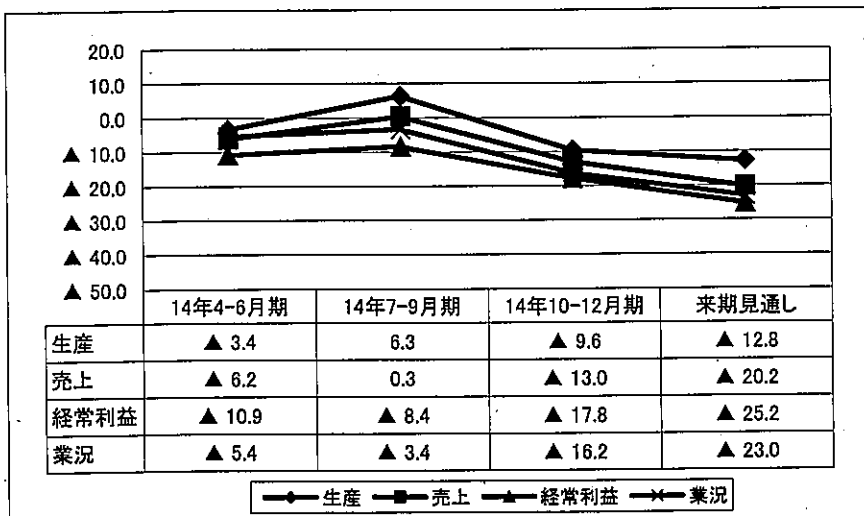
注)DIとは、各調査項目についての増加(好転・上昇等)割合から、減少(悪化・低下等)割合を差し引いた値を示す。雇用の水準DIでは、「過剰」-「不足」として算出するので、プラスになれば人員過剰、マイナスになれば人員不足となる。

規模別

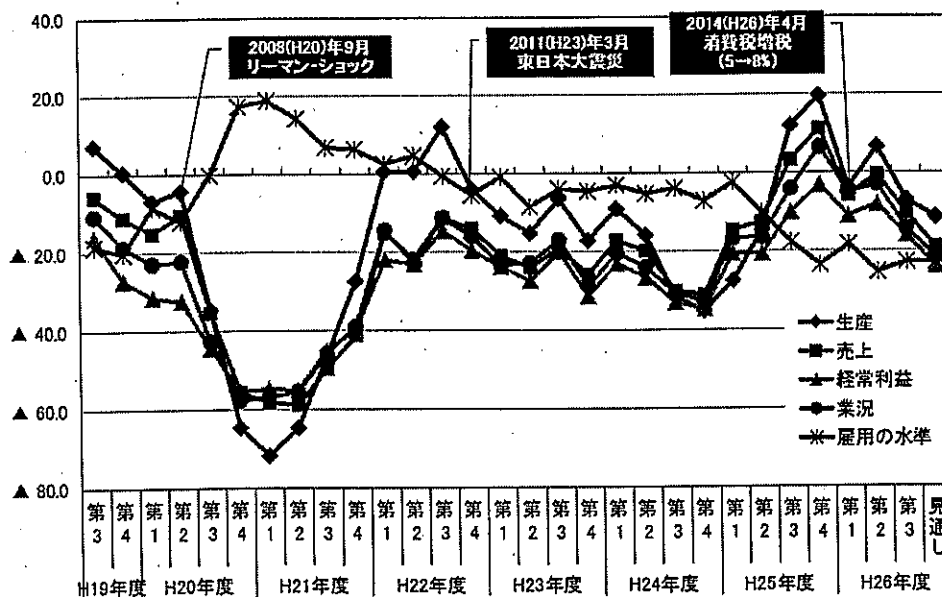
大企業



中小企業



(参考)

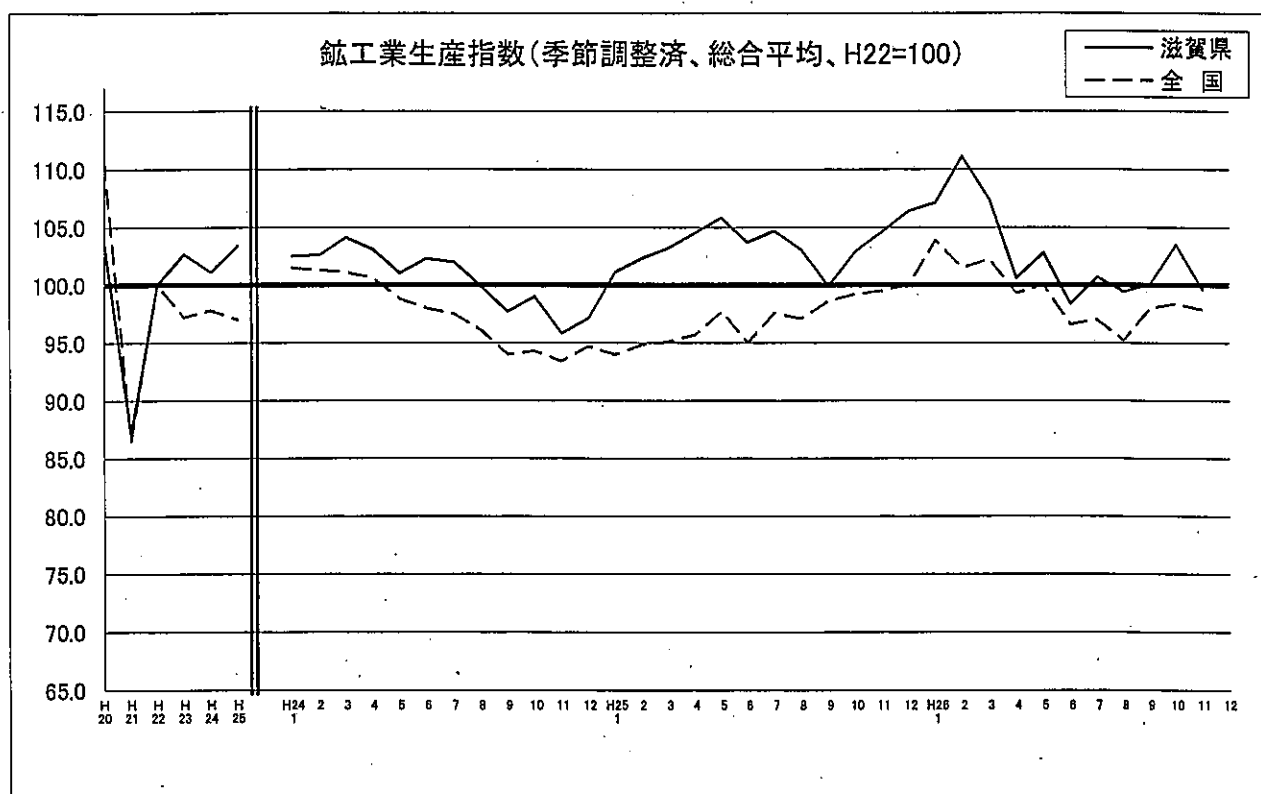


経済指標から見る県経済の動向（平成26年11月の経済指標から）

県内景気は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかに持ち直している。

◆生産動向は持ち直しつつある。

（資料：県統計課）

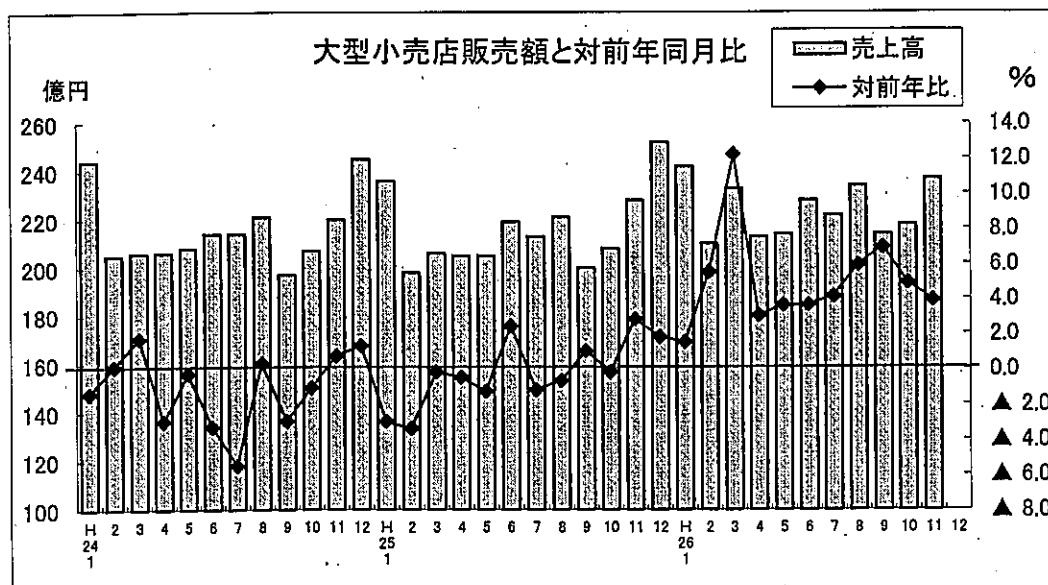


・鉱工業生産指数の原指数は3か月ぶりに前年を下回り、季節調整済指数は3か月ぶりに前月を下回る。

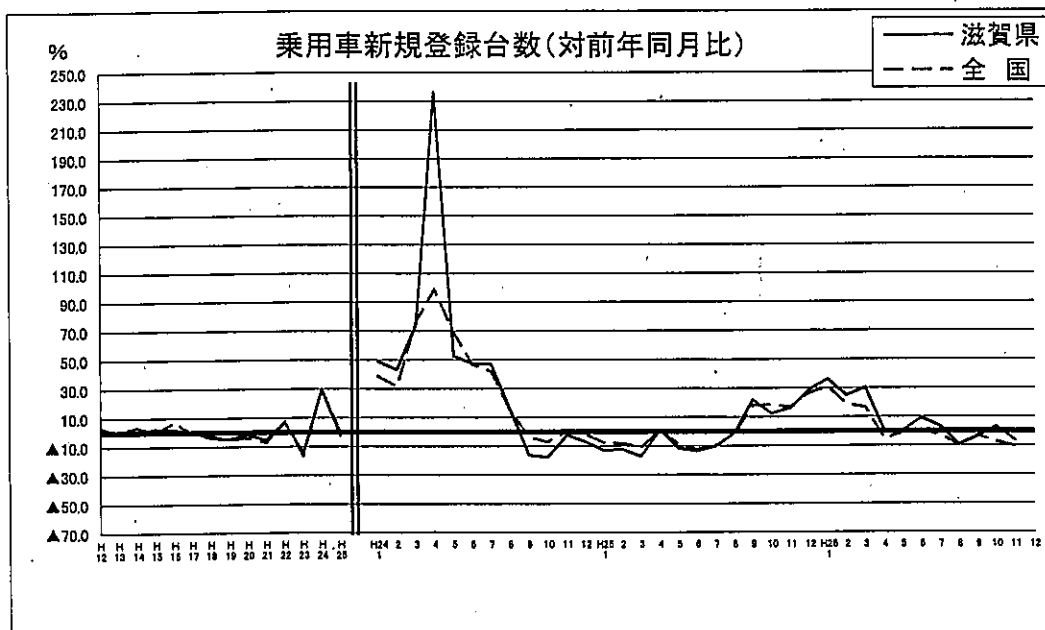
（季節調整済指数 H22=100）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉱工業生産指数	100.6	102.8	98.4	100.7	99.4	100.1	103.5	99.6

◆個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。

(資料:近畿経済産業局 / 滋賀県自動車税事務所・軽自動車検査協会滋賀事務所)



・大型小売店販売額は、13か月連続で前年同月を上回る。

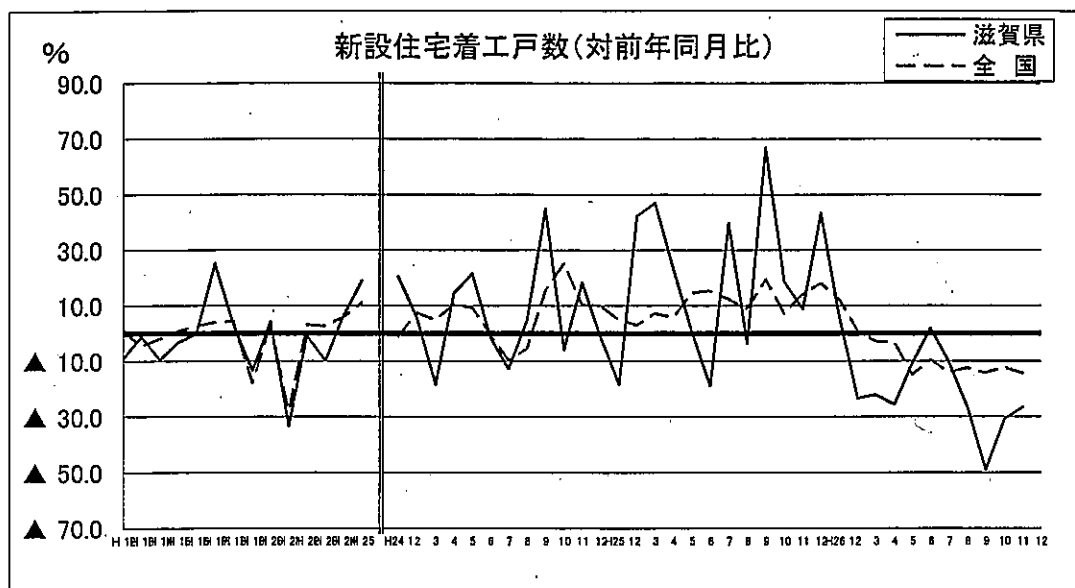


・乗用車新規登録台数は、2か月ぶりに前年同月を下回る。

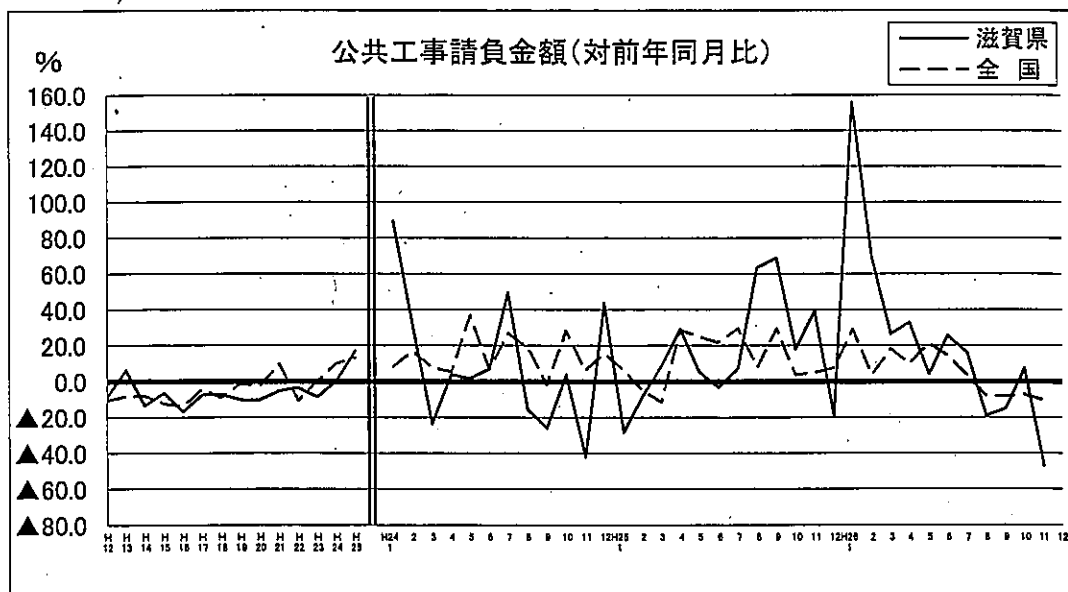
(前年同月比・%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額 (販売額)	3.0	3.6	3.6	4.1	5.9	6.9	4.9	3.9
乗用車新規登録台数	0.2	0.5	9.2	3.3	▲9.3	▲3.7	3.2	▲6.4

- ◆住宅投資は減少傾向にある。
- ◆公共投資は堅調に推移している。

(資料:国土交通省 / 西日本建設業保証(株))



・新設住宅着工戸数は、5か月連続で前年同月を下回る。

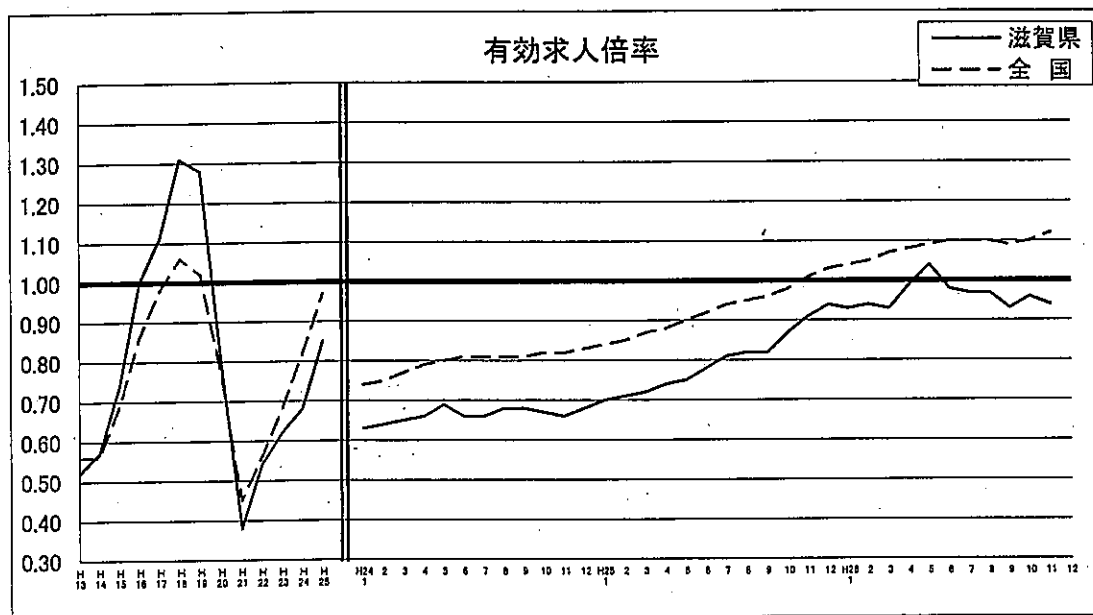


・公共工事請負金額は、2か月ぶりに前年同月を下回る。

(前年同月比・%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数	▲25.6	▲10.7	1.8	▲10.2	▲26.6	▲49.0	▲30.9	▲26.6
公共工事請負金額	32.7	4.0	25.4	16.1	▲19.1	▲15.2	7.2	▲47.1

◆雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

(資料:厚生労働省)



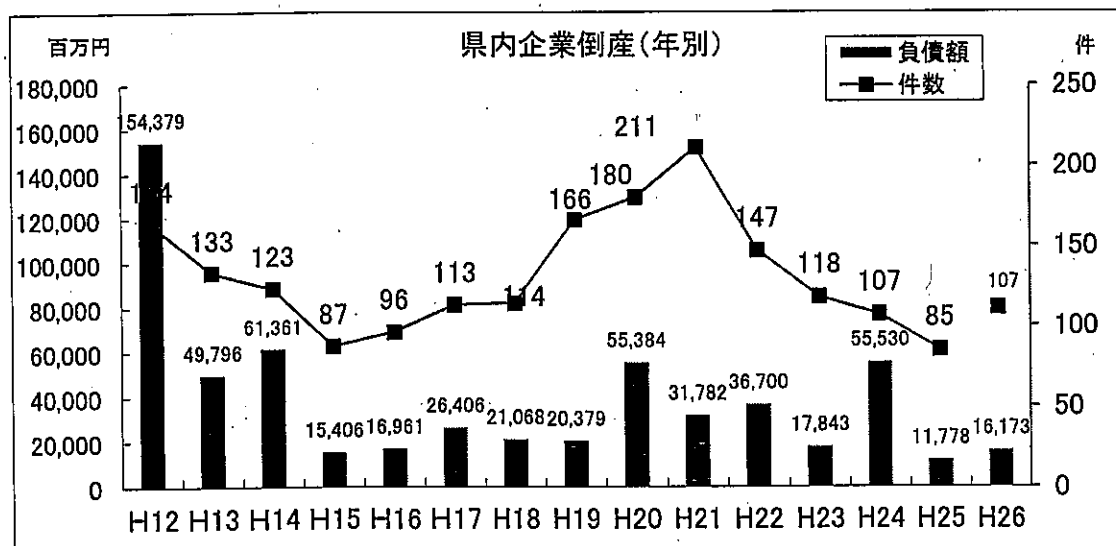
・有効求人倍率は、2か月ぶりに前月を下回る。

(季節調整済指数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	0.99	1.04	0.98	0.97	0.97	0.93	0.96	0.94

前
12月
1.00

◆倒産状況

(資料:東京商工リサーチ)



・企業倒産件数は、10か月ぶりに前年同月を下回る。(平成26年は1月から11月の合計)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業倒産件数	9	12	13	13	10	10	11	11
(対前年増減件数)	2	5	7	4	5	2	4	▲2